



# マリアニスト家族世界評議会

Via Latina 22, 00179 Rome, Italy – [www.marianist.org](http://www.marianist.org)  
Tel (+39) 06 70 47 58 92 -- FAX (+39) 06 7000 406

## マリアニスト家族の皆さんへ

親愛なる皆さん、

マリアニスト家族世界評議会のメンバーは2009年11月11日から13日にかけてローマに集まりました。これらの日々は喜びの中に出会い、分かち合い、祈り、そしてまた特に、マリアニスト信徒共同体国際チームの新しいリーダーたち、並びにアリアンス・マリアルのリーダーを迎える機会でもありました。コートディボアールから参加する予定だったアリアンス評議会のメンバーである Agathe Senou は結局参加できないことになり、私たちはとても残念でした。世界に広がっているマリアニスト家族について考察しながら過ごしたこれらの日々、私たちは皆さんのことを考えておりました。マリアニスト信徒共同体国際チームのリーダー Isabella Moyer は世界評議会の会合を司会して、その任期を開始しました。私たちの討論は本当に真剣で、効果あるものでしたし、家族の中での交わりの意識を強めてくれるものだったと思います。

各枝は過去一年の特記事項について報告しました。

- \* アリアンス・マリアルは成長を続けています。始まったのはフランスとスイスでしたが、今ではコートディボアール、カナダ、チリ、コンゴ民主共和国、エクアドール、日本、トーゴ、ハイチでの力強い発展を示し、今やメンバーは51名を数えています。アリアンス・マリアルは教区立に則した信徒団体として認められ（ラ ロシェル教区）、在俗会として認知される方向に進んでいます。幾つかの地域では、メンバーたちが養成の任を遂行しています：これはとても前向きで、幸いなことです。
- \* マリアニスト信徒共同体（CLM/MLC）はナイロビでの第5回国際大会を終了したところです。その折に、新しいリーダーたちを選出し、“**教会と世界におけるマリアニスト信徒共同体の任務**”と題する文書を発表しました。この文書は社会正義、特に貧しい人々に対しての積極的な取り組みについて強調しています。CLM/MLC はこの会合で挑戦すべき8項目を定め、その優先順位を示しました。その中で最重要とされたものの一つはマリアニスト家族内の各枝間のつながりを強化することにあります。CLM/MLC 内での養成の強化は国際チームのもっとも重要な案件の一つです。前回のチームにより作成された“**マリアニスト伝統の中での信徒生活のガイド**”はすでにウェブサイトですぐ入手可能です。（[www.clm-mlc.org](http://www.clm-mlc.org)）
- \* マリア会は、今年7月、総会と総会の間定期的に開かれる総指導者会議（GLA）を開催しま

した。この会議中でなされた討議は、会の姿が変わりつつあることを確かめています。古い行政単位は高齢化しつつあり、新しい行政単位、特にアフリカとアジアでは成長が認められます。ミッション、養成、経済生活の面で派生する問題を考慮すると、この変化の時代は困難なものです。シャミナード神父の列聖の可能性に目を転じますと、手続きは進行中であり、間もなく目的に達する可能性もあります。同様に、ファウスティーノの尊者宣言のための手続きも終了に近づいています。シャミナード神父の著作をまとめた“**Ecrits et Paroles**”「**文書と言説**」の最終巻も発行目前です。マリアニスト研究・養成センターの設置も進行中です。

- \* 汚れなきマリア修道会 (FMI) は、日本管区と韓国地区との交流の強化、並びに、両国の MLC グループ間の交流が強化されつつあることを報告しました。この事実は日本・韓国文化の面からみて教会と社会にとって貴重な証しとなるものです。 FMI は来年 臨時評議会を開催する予定です。この評議会は会の将来の発展について協議することになります。シスターたちは今年 7 月に行った教育についての会議につき報告しました。この会議では教育に携わる人々の一致、並びにマリアニスト教育ガイドの開始が大きく取り上げられました。

## 会議の結果

評議会は、私たち一人一人と各枝にとって“マリアニスト家族”は何を意味するか、について深く意見を交わす好機となりました。

今年 25 回目を迎えて行われた世界マリアニスト祈りの日は、マリアニスト家族の一致のますます重要なしるし、世界至る所での真の交わりの時となっています。インターネットや e-mail を介しての交わりが盛んになってきました。平和の聖母巡礼地のあるコンゴ民主共和国のキンシャサのマリアニスト家族は、祈りの中に全マリアニスト家族とその生活を分かちあい、連帯を経験する機会を得たことを深く感謝しています。次回の世界マリアニスト祈りの日は 2010 年 10 月 10 日、ハイチの聖母巡礼地が予定されています。これはまた ハイチの信徒マリアニスト共同体の 10 周年を祝う機会でもあります。2011 年についての私たちの計画ですが、2011 年 10 月 9 日、サラゴサの柱の聖母巡礼地でこの祈りの日を迎えることを考えています。これはシャミナード神父生誕 250 周年の年にあたります。

評議会はまた、マリアニスト家族として、全ての枝での召命を盛んにするための私たちの努力について考察しました。私たちの考えは、毎年、教会が提案する世界召命祈願の日にあたって、この日のために独特のマリアニスト的な色彩を与えてくれる材料を提供することです。

評議会では、“金曜日のマグニフィカト”計画について再検討がなされました。その 2009 年のテーマは FMI と SM の養成段階にある人たちが行っている正義と平和に係わる任務でした。“金曜日のマグニフィカト”は 2010 年も続行され、そのテーマは正義と平和に貢献する教育プログラムです。テキストやメモ類などの配布がいきわたっていないのが事実です。これらの文書は英語、フランス語、スペイン語ですので、Dan Jordan ([dan.jordan@udayton.edu](mailto:dan.jordan@udayton.edu)) に依頼してください。Susan Vogt (CLM/MLC) が 2010 年シリーズのための文書、写真を求めています。

2011年に、ギョーム・ジョセフ・シャミナード神父（1761－1850）の生誕250周年をお祝いします。この記念日をふさわしく祝うために、シャミナード神父に関連した歴史的、典礼的、現代的観点を、毎月、一つずつテーマに取り上げたカレンダー作りが進展しています。このカレンダー作りは、この記念すべき歴史的な瞬間が近づくにつれて、その完成が待ち遠しいものです。

評議会は、Jose Luis Perez が熱心に指導している“国際マリアニストボランティア活動”を通して、マリアニスト家族内で行われているボランティア活動についても検討しました。

評議会は今年用のファミリーアルバムの出版の中止を決定するとともに、シャミナード神父生誕250周年の折に新しく出版することを考えています。

世界評議会は自らの定款を再検討し、改定の必要を認めました。変更は評議会の財務取扱い、並びに評議会秘書についての現項目に係わるものです。この件についてはマリアニスト家族のウェブサイト：[www.marianist.org](http://www.marianist.org) を参照ください。

2010年－2013年のための評議会目標はこのレポートに添付されており、またウェブサイトでも参照できます。

世界評議会秘書 Brother Timothy Phillips, SM は2010年初めにローマを去る予定です。評議会は彼に、そして彼のこれまでの奉仕に深く感謝いたします。Brother Charles-Henri Moulin, SM が寛大な心でその後任役を引き受けてくださいました。

次回のマリアニスト家族世界評議会会議は2010年11月3日から5日にかけてローマで開催される予定です。

マリアニスト家族世界評議会メンバー

2009年11月

Jose Maria Alvira SM  
Felix Arqueros MLC  
Christiane Barboux AM  
Marie Joelle Bec FMI  
Manuel Cortes SM  
Isabel Duarte MLC  
Andre Fetis SM  
Domingo Fuentes SM

Estella Ibarra FMI  
Maria Jose Jauregui FMI  
Ernest Kasongo MLC  
Susanna Kim FMI  
Isabella R. Moyer MLC  
Edward Violet SM  
Susan Vogt MLC  
Timothy Phillips SM

# 2010－2013年度目標

## 1. 召命： 私たちそれぞれの召命と私たち共通の召命を深め、より良く生きるため協力しあうこと

### 行動：

- \* 世界評議会内の共通のミッションについて、考察を継続する
- \* 私たちのマリアニスト召命において自分自身を刷新する良い機会である創立者生誕250周年の期間中に、“2011シャミナード年”の祝賀式典を提案し、協力する
- \* 世界召命祈願の日にあたってマリアニスト召命のための考察と祈りを推進すること
- \* 各地域での“マリアニスト養成センター”の設置計画と活動を支える
- \* ウェブサイトを介して、各枝の間に養成材料を分かち合う

## 2. ミッション： 教会と世界の中での私たちのミッションを支え、発展させるために貢献すること

### 行動：

- \* 正義と平和のための活動を強調
- \* 正義と平和に向けた私たちの具体的な活動を知らせ、同伴していくために、引き続き「金曜日のマグニフィカト」を用いる。最も貧しい人々の教育を目指した活動に力を入れる
- \* 正義と平和に関連してマリアニスト家族で体験した経験をウェブサイト を介して知らせ、分かち合う
- \* マリアニスト家族のミッションに係わるプロジェクトのための財政的、人的資源を探すアイデアに協力する

## 3. コミュニケーション

- \* 私たちのコミュニケーション手段を引き続き発展させる
- \* 世界評議会を世界のマリアニストにとってもっと身近なもの、現実感のあるものとするためにウェブサイト をより良く活用する
- \* ウェブサイトでニュースや新しい事項をもっと良く知らせよう努める
- \* 電子メールアドレスのリストを最新のものにする
- \* 各国の評議会を発展させ、それがコミュニケーションの手段となるよう活気づける
- \* 連絡、知らせを全員に遺漏なく届ける